

独・ウルフスクーレ学校初来日！ 県立安積高校の交流事業を行うにあたり 歓迎レセプションを実施します



ターゲット 4.7



ターゲット 17.17

2025年1月8日
郡山市産業観光部
産業創出課
課長 古川 誠
TEL：924-2278

SDGs ターゲット 4.7 「2030年までに、持続可能な開発を促進するために必要な知識及び技能を習得できるようにする」
SDGs ターゲット 17.17 「効果的な公的、官民、市民社会のパートナーシップを奨励・推進する」

ドイツ・エッセン市にあるウルフスクーレ学校が初来日し、県立安積高校と交流事業を実施いたします。つきましては、郡山市長を表敬するとともに、歓迎レセプションを実施します。

- | | |
|---------|---|
| 1 日 時 | 2025年1月15日(水) 16:15~16:50 |
| 2 会 場 | 郡山市役所 特別会議室(本庁舎2階) |
| 3 出席者 | 独・エッセン市 ウルフスクーレ学校 生徒12名、担当教諭3名
県立安積高校 海外研修ドイツ班 生徒20名、担当教諭3名 |
| 4 応 対 者 | 郡山市長、産業観光部長、文化スポーツ部長 |
| 5 内 容 | 県立安積高校のスーパーサイエンスハイスクール事業に基づき、2020年より交流を続けてきたエッセン市のウルフスクーレ学校が県立安積高校を訪問します。2020年に交流が始まって以来、今回初めて来日して交流を行います。
(レセプション内容：出席者紹介、挨拶、記念品贈呈、写真撮影等) |
| 6 そ の 他 | 交流事業に関する問い合わせ
県立安積高校担当 橋爪 清成 副校長 TEL: 922-4310 |

○エッセン市との交流の経緯について

- 2019年度~2023年度 県立安積高校 文部科学省第2期スーパーサイエンスハイスクール(SSH)事業指定
- 2019年9月 エッセン市と郡山市が「教育」と「次世代の人材育成」における都市間協力の合意書を手交
- 2020年 県立安積高校のエッセン市におけるパートナー学校がウルフスクーレ学校に決定し、SDGsをテーマとしたオンライン交流プログラムを実施
- 2021年 両校の生徒25名が5グループに分かれ、SDGsの各ゴールを1つ選択し、グループワークとディスカッションにより、そのゴールの達成に貢献する共同プロジェクトを企画(オンライン交流)
- 2022年 駐日ドイツ大使館への訪問(1月)や駐日ドイツ大使の訪問受入(2月)、エッセン市長の訪問受入と交流会を開催(9月)、生徒12名が訪独し現地交流を実施(12月)
- 2023年 SDGsをテーマとしたオンライン交流プログラムを実施(12月)
- 2024年 生徒12名が訪独し現地交流を実施(1月)
- 2024年度~2028年度 県立安積高校 文部科学省第3期スーパーサイエンスハイスクール(SSH)事業指定

○ウルフスクーレ学校について

- 1968年創立。エッセン市が運営するギムナジウム（ドイツの中等教育機関、中高一貫校）で、5-12学年（日本の小学5年生から高校3年生まで）の生徒約950名が在籍。
- 自然科学等、科学・技術教育（MINT教育）、英語でのバイリンガル教育等に力を入れている。
- 同校グリーンクラブは生徒により創立・運営されている学生企業で、フェアトレード製品やサステナブルな衣服のオンラインストア等での販売、太陽光発電プロジェクト等、学校生活や地域の持続可能性を高めるプロジェクトに取り組んでいる。



2020年度の報告会の様子



駐日ドイツ大使館訪問と活動報告
(2022年度)



エッセン市長の訪問と交流会
(2022年度)



交流パートナーとの初対面
(2022年度)



ウルフスクーレ学校の生徒たち
(2022年度)



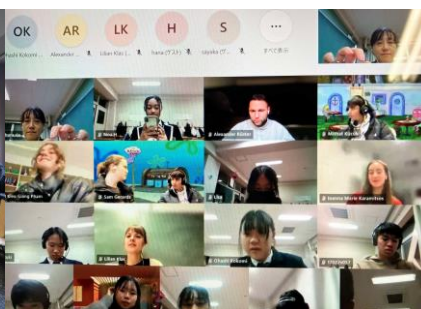
エッセン・ガス・ヒート研究所視察
(2022年度)



ウルフスクーレ学校での交流会
(2022年度)



現地プログラムを企画いただいた
先生方や生徒たち (2022年度)



オンライン交流会の様子
(2023年度)



ウルフスクーレ学校での交流会
(2023年度)



ツォルフェライン炭鉱業遺跡群視察
(2023年度)



現地プログラムを企画いただいた
先生方や生徒たち (2023年度)

※2020、2021年度は新型コロナウイルス感染症の影響により海外研修見送り